

民間事業者研究会の活動報告(意見交換会)

～国土交通省市街地整備課との意見交換会の開催報告～

平成19年9月6日(木)、国土交通省都市・地域整備局市街地整備課松田課長、中村企画専門官、筒井課長補佐、安川課長補佐にご出席いただき、下記の内容にて意見交換会を行いました。

- 出席者:国土交通省 上記4名
:民間事業者研究会 清水 隆敏会長(相鉄不動産(株)) 他会員企業16名
- 平成20年度新規施策と関連予算について
国土交通省市街地整備課より
- 『柔らかい区画整理－実情に応じた多様で柔軟な運用－』について
国土交通省市街地整備課より
- 民間事業者が取り組む都市再生事業スキームについて(分科会報告)
民間事業者研究会 分科会 長島 弘和座長(相鉄不動産(株))より
- 自由意見交換
上記テーマに関連する意見交換



意見交換会の風景

～横浜市市街地整備部との意見交換会の開催報告～

平成19年9月13日(木)、幹事会メンバーが横浜市を訪問し、市街地整備部の方々と意見交換を行いました。

～東京都都市整備局との意見交換会の開催報告～

平成19年9月19日(水)、幹事会メンバーが都庁を訪問し、都市整備局の方々と意見交換を行いました。

「民間事業者研究会企画講演会」開催の報告

9月26日(水)当機構会議室にて、民間事業者研究会企画の講演会を開催いたしました。講師に(株)日本設計 主任技師 越川 裕康氏をお招きし、「余剰容積移転に係る意義・制度」をテーマに、講演をいただきました。

講演後行われた自由意見交換会では、活発な質疑がなされ、今後、既成市街地における区画整理を考えていく上で重要なテーマの講演であったと感じました。



越川講師



講演会風景

新幹線飯山駅周辺土地区画整理事業起工式の報告(長野県飯山市)

当機構が調査業務で携わっている長野県飯山市の新幹線飯山駅周辺土地区画整理事業の起工式が、このほど執り行われました。この事業は、既存住宅地における良好な居住環境への改善と、広域交通結節点として必要な主要施設の整備を行い、北陸新幹線飯山駅が北信地域の玄関口として相応しい魅力的な駅周辺地区の創設と、中心市街地の活性化を図ることを目的としています。

事業の起工を心からお慶び申し上げますと共に、今後新しいまちづくりが早期実現されますことを祈念申し上げます。

《事業の概要》

事業名:飯山都市計画事業 新幹線飯山駅周辺土地区画整理事業
施行者:飯山市
施行面積:7.7ha
権利者数:74人
総事業費:約60億円
平均減歩率:約18%
事業認可:平成18年3月
事業計画決定:平成18年4月3日
起工式:平成19年9月20日

施行前航空写真



「平成18年度 街なか再生NPO等助成金」を活用した事例紹介(その3)

当機構・街なか再生全国支援センターの「平成18年度街なか再生NPO等助成金」を活用した事例について、ご紹介いたします。
※活動状況の画像は同センターのHPをご覧ください。

URL: <http://www.sokusin.or.jp/machinaka/npo/npo2.htm>

【事業名称】 小田原デザインストリート2006 水と緑の歳時記	【団体名】 特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団	【推薦市町村】 神奈川県 小田原市
【目的】 小田原市の中心市街地を、自らの環境をより豊かにデザインしてゆく地域として再生する。2005年度から取り組んでいるお堀端通り地区をモデルに、この地域の貴重な環境資源になっている水と緑を、楽しみながら育てる仕組みを立ち上げたい。		
【活動状況】 ○お堀端通りの組織立ち上げ 将来にわたって地域のデザインを持続的に行う受け皿として、商店街の役員を中心に、周辺住民、市民活動団体などが参加する開かれた研究会組織を立ち上げた。 ○打ち水大作戦2006 2回にわたって、打ち水大作戦を実施した。商店街に残る井戸水や水路の水だけでなく、付近の住民の、ため水なども持ち寄って、親子で気軽に参加してもらったほか道行く人にも参加してもらった。 ○お堀端通りの史跡・旧三の丸土塁(幸田口門跡)への花植え 小田原城史跡である旧三の丸土塁に「なでしこ、京藤、ゼラニウム」など花の植栽を実施した。 ○お堀端通りメインストリート2006・花と緑と水の歳時記 健康と環境にこだわった商品をお堀端ストリートの店舗の店先で販売する社会実験イベントを実施した。 ○ウェルカム竹垣ワークショップ 旧三の丸土塁脇の金網フェンスや木柵を、里山から切り出した竹の垣根に修復するワークショップを行った。 ○三の丸燈籠のタベ2006 花の植栽を実施した旧三の丸土塁に、オリジナル・キャンドル・ガラスの灯籠を設置し、参加者で点火するクロージングイベントとして実施した。		

「まちづくりとファイナンスのための講習会」のご案内

(共催:(社)都市計画コンサルタント協会 (社)全日本土地区画整理士会 (財)区画整理促進機構)

日時(東京会場):平成19年11月9日(金)9:00~16:50(受付開始8:45より)

場所(東京会場):日本工営(株) A会議室 3F 定員:70名

日時(大阪会場):平成19年11月12日(月)9:00~16:50(受付開始8:45より)

場所(大阪会場):大阪府建築健康保険組合 会議室 5F 定員:70名

講師(共通):野口 秀行氏(前日本政策投資銀行 主任研究員)

受講料(共通):会員・公共団体10,000円/一般15,000円

申込方法:別紙(もしくは当機構HP)の申込用紙に必要事項を記入し、FAXまたはEメールにてお申し込みください。(URL:<http://www.sokusin.or.jp/>)

申込期限:平成19年10月26日(金)

問合せ先:(社)都市計画コンサルタント協会 担当:草山

TEL:03-3261-6058 FAX:186-03-3261-5082

Eメール:info@toshicon.or.jp URL:<http://www.toshicon.or.jp/>

『中心市街地活性化講習会2007』開催のお知らせ

『新たに活性化を目指す中心市街地』

開催日	開催地・会場	定員
平成19年11月22日(木)	【東京】 全国町村議員会館 大会議室 (半蔵門駅徒歩0分 麴町駅徒歩6分) (所在地:千代田区一番町25番地)	160名

プログラム

時間	項目	講演者
9:30		受付開始・開場

10:00~10:15	主催者挨拶	(財)区画整理促進機構
10:15~10:45	国土交通省講演	国土交通省大臣官房技術審議官 竹内 直文 「中心市街地活性化について」
10:45~12:00	基調講演	宮城大学大学院事業構想学研究科教授 横森 豊雄 「コンパクトなまちづくりと中心市街地活性化」 今後の我が国においてコンパクトなまちづくりが必要とされる理由、まちづくり三法が改正されなければならなかった深刻な背景、市町村がコンパクトなまちづくりに取り組む際の課題、多様な関係者が関わる体制づくりについて、内外の事例を交えて明らかにする。
13:00~13:55	事例紹介1 香川県 高松市	高松丸亀町商店街振興組合理事長 古川 康造 「高松丸亀町 これからのまちづくり戦略 ~エリアマネジメント~」
13:55~14:50	事例紹介2 熊本県 八代市	八代工業高等専門学校教授 齋藤 郁雄 「八代市における中心市街地活性化への取り組み」
15:05~16:00	事例紹介3 静岡県 浜松市	浜松市商工部都心政策課課長補佐 内山 俊宏 「浜松市における中心市街地活性化への取り組み」

・受講料:6,000円/名
 なお、講習会のプログラムや申込等につきましては、「街なか再生全国支援センター」のホームページで更新して参りますので、ご覧下さい。
 URL:<http://www.sokusin.or.jp/machinaka/index.html>
 問合せ先 事務局:(財)区画整理促進機構 街なか再生全国支援センター 浮本
 TEL:03-3230-8477 FAX:03-3230-4514

人事異動

国土交通省 都市・地域整備局市街地整備課

新所属	氏名	旧所属
10月1日 土地・水資源局総務課公共用地 室用地 指導係長(併)総合政策局 海洋政策課	相澤 洋	市街地整備課市街地整備制度調整室 経営制度係長
市街地整備課市街地整備制度調 整室経営 制度係長	末森 大介	関東地方整備局首都国道事務所 総務課職員係長
総合政策局安心生活政策課 調査係長	小富士 貴	市街地整備課再開発推進係長 (併)住宅局建築指導課
市街地整備課	石橋 隆史	住宅局住宅総合整備課 (併)市街地整備課

(財)区画整理促進機構

転入	転出
10月1日 企画部 主幹 藤田 利和 (株)オオバより)	9月30日 企画部 主幹 富田 剛久 (株)オオバへ)

問合せ先

(財)区画整理促進機構
TEL 03-3230-4513

[←戻る](#)

